

ナガエツルノゲイトウ

分類: 双子葉植物、離弁花類、ヒユ科、ツルノゲイトウ属

学名: *Alternanthera philoxeroides*

英名: alligatorweed

和名: ナガエツルノゲイトウ

別名・流通名: ミゾツルノゲイトウ、エナガツルノゲイトウ
などの和名のほかに、学名のアルテルナンテラ、アルテ
ラナンテラ・フィロゼロイデスの呼び名で販売される。

原産地と分布: 南アメリカ原産、北アメリカ、アジア、オセ
アニア、アフリカに分布する。

未判定外来生物: なし。

種類名証明書添付生物: ツルノゲイトウ属全種(約80種)

形態的特徴:

花: 球状(頭状)で径12-16mm、1-4cmの柄があり、1(-2)個の
花序が葉脇に単生。花の色は白色または灰白色。

葉: 対生し無柄または1-6mmの短柄がある。葉身は倒卵形~
倒広披針形、長さ2.5-5cm、幅0.7-2cm、鋭頭~鈍頭、基部は
くさび形、全縁で縁毛があり(細かい鋸歯があると記述する
文献もある)、上面は緑色で圧毛を散生するか無毛、下面は
淡緑色で無毛。

茎: 長さ0.5-1m以上、太さ4mmに達し、柔らかく、中空。上部
は斜上または直立し、節間の上部に2条の毛の列があるか
無毛、節の直上に白毛を密生する。時として節部に赤みを
帯びることがある。基部は匍匐して数多く分枝し、発根する。



© JWRC



© JWRC



05 7 8 © JWRC

特記事項: 池沼、水路、湿った畑地などに生育する。長期間の乾燥に耐えられるので、陸上植物としても生育できる。茎切片による栄養繁殖が極めて旺盛である。ツルノゲイトウ属は、日本では本種の他に、ホソバツルノゲイトウ *A. denticulata*、マルバツルノゲイトウ *A. pungens*、ツルノゲイトウ *A. sessilis* が定着している。観賞用の水草として、これらを含む10種程度が輸入、販売されている。モヨウビユ *A. ficoidea* は陸生の園芸植物として、多数の園芸品種が流通、利用されている。